



ギル・シャハム  
*Gil Shaham*

J.S. バッハ  
無伴奏ヴァイオリン・リサイタル

*J.S. Bach*  
*Solo Violin Recital*

2010年

11月18日(木) 19:00開演

フィリアホール

Thursday, November 18, 2010 at 7:00 p.m. Philia Hall

J.S. バッハ  
J.S. Bach

無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第3番 ホ長調 BWV1006  
Partita for Violin Solo No. 3 in E major, BWV 1006

無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番 イ短調 BWV1003  
Sonata for Violin Solo No. 2 in A minor, BWV 1003

無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番 ニ短調 BWV1004  
Partita for Violin Solo No. 2 in D minor, BWV 1004

S ¥6,000 A ¥5,000

主催: KAJIMOTO 共催: フィリアホール



©J. Henry Fair

## 若き天才から真の巨匠へ… 成熟の境地を聴く

昨年クラシックの殿堂ロンドン・ウィグモアホールで絶賛を博した  
J.S.バッハ無伴奏プログラムを携え、3年ぶり待望の来日リサイタル!

神童と呼ばれた演奏家は数知れずいるが、彼もまたその一人。そしてギル・シャハムはまぎれもなく21世紀を代表する天才である。ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、シカゴ響など超一流オーケストラからのオファーは絶えることがない。

前回2007年の来日では、長年のパートナーである江口玲と王子ホールや紀尾井ホールなどでブラームス、モーツァルト、ロドリーゴ、サラサーテ、そして今回も取り上げるJ.S.バッハの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番を演奏。極上の技巧と性格の異なった作品を鮮やかに弾き分ける豊かな表現力、清澄な音色で多くの聴衆を魅了していた。

今回彼が弾く3曲は、バッハの無伴奏のうち、彼が最も好むと明言しているものだ。

パルティータ第3番は、ギルの伸びやかな音によって快活な息吹を与えられ、華やかに幕を開けるだろう。

十二分にコントロールされたボウイングが必要とされると言われるソナタ第2番での申し分のない弓使いは必見。無伴奏曲の頂点とも言えるパルティータ第2番では、まさにギルの深い音色、揺ぎない表現が、色のない楽譜の上に満開の花を咲かせ、シャコンヌでその幕を閉じる。

端正で上品、はにかみながら話す人なつこい、柔らかな性格は、ステージからも伝わってくる。

今回はヤンソンス指揮コンセルトヘボウ管との共演の合間を縫ってのリサイタルという離れ業。世界中を魅了する、ギル・シャハム成熟の境地が聴けるこの機会をお聴き逃しなく!

### ギル・シャハム (ヴァイオリン)

Gil Shaham, Violin

ギル・シャハムは、最も優れた技術を持つクラシック演奏家の一人として、聴衆や批評家から国際的に認められている。そして彼の演奏は、一流オーケストラや著名な指揮者、世界中の名高いコンサート・ホールや最も権威のある音楽祭から求められている。

1971年アメリカ・イリノイ州のシャンペイン・アーバナ生まれ。両親と共に移住したイスラエルで、7歳からヴァイオリンを始め、ルービン・アカデミー・オブ・ミュージックでサミュエル・バーンスタインに師事し、アメリカ・イスラエル文化財団の年間奨学生となる。1981年には、エルサレムでハイム・タウブに師事する一方、エルサレム響、およびイスラエル・フィルとの共演でデビューを果たした。同年より、アスペンでドロシー・デレイとジェーンズ・エラーマンのもとで学びはじめる。1982年に、イスラエルのクレアモント・コンクールでの優勝の後、奨学金を受け、ジュリアード音楽院でドロシー・デレイ、ヒョー・カンの両氏に師事した。また、コロンビア大学でも学んでいる。

2009/10シーズンの主な活動として、“1930年代のヴァイオリン・コンチェルト”と題し、バーバー、バルク、プロコフィエフ、ウォルトンなどのヴァイオリン協奏曲を取り上げ、グスターボ・ドゥダメル指揮ロサンジェルス・フィル、マイケル・ティルソン・トーマス指揮ロンドン響、デイヴィット・ロバートソン指揮ニューヨーク・フィル、マリス・ヤンソンス指揮バイエルン

*Gil Shaham  
Violin*

放送響などと共演している。また今シーズンはオール・バッハ・リサイタルのシリーズをスタートさせ、ロンドン、ミラノ、プラハ、ケルンなどでコンサートを開いている。

オーケストラとの数多くの共演に加え、シャハムは、ピアニストの江口玲と定期的リサイタル・ツアーを行っている。また、彼の妻であるヴァイオリニスト、アデル・アントニーをはじめ、妹のオリ・シャハム(ピアノ)、義理の兄である指揮者、デイヴィット・ロバートソンら家族との共演も楽しんでいる。2006年夏には、イェフィム・ブロンフマンおよびトゥルルス・モルクとツアーを行い、シューベルトのピアノ三重奏曲を演奏、その録音も行っている。24枚以上にもなる彼の協奏曲やソロのCDの多くが米国内外のレコード・チャートに登場し、また、グラミー賞、グランプリ・デュ・ディスク、ディアパゾン・ドール、グラモフォン誌エディターズ・チョイスといった権威ある賞に輝いている。最近の録音には、自ら設立したレーベル、カナリア・クラシックスから発売された「フォーレ作品集」(ピアノ:江口玲)、「エルガー:ヴァイオリン協奏曲」(ジンマン指揮シカゴ響)などが挙げられる。

1990年にエイブリー・フィッシャー・キャリア・グラントを受賞。使用楽器は1699年製のストラディヴァリウス“ポーリニャック伯爵夫人”。

### チケットのお申込み

#### カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

検索 <http://kajimotoeplus.com/>

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:114-875)  
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>  
CNプレイガイド 0570-08-9990  
ローソンチケット 0570-000-407  
フィリアホールチケットセンター 045-982-9999  
<http://www.phillahall.com>(24時間オンライン予約)

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。  
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応  
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座8-6-25 河北ビル TEL: (03)3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>